

大泉学園駅南側地区の補助 135 号線と補助 232 号線を、 優先整備路線から外すことを求める陳情

2025 年 月 日

大二中を分断する道路計画を考える会

代表 鈴木 達夫 ほか 人

住所 練馬区東大泉 6-18-3

電話 03-5934-5658

東京都議会議長 殿

要旨

新たな「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」の策定にあたり、大泉学園駅南側地区・補助 135 号線、補助 232 号線を優先整備路線から外すよう、関係機関に働きかけてください。

理由

西武池袋線の大泉学園駅南側に位置する練馬区立大泉第二中学校の敷地を分断する都市計画道路補助 135 号線と補助 232 号線は、第四次事業化計画において優先整備路線に位置づけられていましたが、事業期間が終了するに至っても、着手されていません。その大きな理由の一つは、地域住民の合意形成が全くと言ってよいほど整っていないことです。今年 3 月、練馬区は『大泉第二中学校の教育環境保全と大泉学園駅南側地区まちづくりの取組方針』(以下『取組方針』)を決定しましたが、この『取組方針』に対して提出された請願・陳情に添えられた署名は、推進を求める署名が 226 筆だったのに対し、撤回を求める署名は 3,365 筆にのぼりました。道路建設に対し住民の理解、合意があるとはとうてい言えません。

また、当該道路の必要性を評価するうえで欠かすことのできない学芸大通りなど周辺の主要道路の交通量調査は、2019 年の調査結果があくまで参考値にとどまったために、事実上、10 年以上も行われていないことになります。当会が今年の 5 月に実施した学芸大通りの交通量調査結果では、2014 年の練馬区調査と比較して 20.32%も交通量が減少しています。練馬区が当該道路の整備に向けて動き出した 2003 年と比べると、29.51%の減少です。この 20 年の間に地域の交通状況は大きく変化し、地域の交通課題の解決を大きな目的の一つとした補助 135・232 号線の必要性も大きく揺らいでいます。学芸大通りの拡幅整備を優先すべきという地域の根強い声も含め、改めて当該道路の必要性について、客観的事実に基づき検証すべきです。

さらに、『取組方針』は、大泉第二中学校の校舎を 4 階建てにすることを不可欠の前提としていますが、これは用途地域や高度地区の変更を含む地域全体の都市計画の大きな変更が必要です。しかし、この都市計画変更のためには、住民の合意に基づいてまちづくりの方針を検討し、地区計画を決定していかなければなりません。『取組方針』をめぐって住民の意見が広く、鋭く分かれている現状を考えると、都市計画変更の時期を見通すことは困難であると言わざるを得ません。

以上のことから、新たな整備方針の策定にあたっては補助 135 号線と 232 号線は優先整備路線から除外するべきです。

大泉学園駅南側地区の補助 1 3 5 号線と補助 2 3 2 号線を、
優先整備路線から外すことを求める陳情

2025 年 月 日
大二中を分断する道路計画を考える会
代表 鈴木 達夫 ほか 人
住所 練馬区東大泉 6-18-3
電話 03-5934-5658

東京都議会議長 殿

要旨

新たな「東京における都市計画道路の整備方針(仮称)」の策定にあたり、大泉学園駅南側地区・補助 135 号線、補助 232 号線を優先整備路線から外すよう、関係機関に働きかけてください。

氏 名	住 所	印

<注意事項>

- ・住所氏名を記載の上、押印してください。ただし、氏名を自署した場合は押印不要です。
- ・住所は「同上」、「〃」ではなく各欄にそれぞれ記入してください。
- ・日本在住であれば、年齢、国籍を問わずどなたも署名できます。